

目標達成計画

作成日: 令和 5 年 4 月 6 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		コロナ渦で対面での運営推進会議が出来ず、書面による運営推進会議は年6回行い送付していましたが、書面だけでは、利用者様の様子や施設の取り組みが十分に伝わらない。	対面での運営推進会議を開催することで、施設外の方との意見交換を行い、地域の方々に親しんでもらえる施設運営に取り組む。	運営推進会議を開催し、現状を伝え意見交換を行う。意見をもとに改善に努める。地域の行事にも参加し、交流を深める。職員及びご家族に報告を行い、周知していく。	12ヶ月
2		年2回の消防避難訓練は行っているが、コロナ渦で消防署の立会いはできていない。地震に対する危機感が薄い為、災害時の避難訓練は行っていなかった。	年2回の火災避難訓練と一緒に災害時の避難訓練を実施し、緊急時に備える。自然災害時の対策のマニュアルを作成し職員全体で共有する。備蓄については、施設内に整備する。	春と秋に消防署と設備会社の立会いの避難訓練を行い、避難方法や避難場所の確認や消火方法などの知識を得られるようにする。自然災害時の対策マニュアルを作成する。備蓄については、協力施設と討議し、最低限の備蓄を確保する。	12ヶ月